

第 89 回（令和 5 年度第 4 回）さいたま市男女共同参画推進協議会会議録

- 1 日 時 令和 6 年 1 月 2 6 日（金）10 時 00 分～11 時 00 分
- 2 会 場 さいたま市役所本庁舎別館 第 6 委員会室
- 3 出席者 【委 員】 田代会長、堀川委員、江成委員、櫻田委員、角谷委員、山崎委員、丸屋委員
 【事務局】 新藤人権政策・男女共同参画課長
 薮島男女共同参画推進センター所長、山口男女共同参画相談室所長、円谷主幹、川口主任、播磨主任
- 4 欠席者 【委 員】 遊馬委員、植村委員、兼宗委員、岩見委員、松岡委員
 朝長委員

5 会議の詳細

1 開 会	10 時 00 分、第 89 回（令和 5 年度第 4 回）さいたま市男女共同参画推進協議会を開会した。
定足数の確認	(事務局) 本協議会委員総数 13 名のうち 7 名の出席により、本協議会規則第 3 条第 2 項に規定する「委員の過半数」を満たしていることを確認した。
傍聴者の確認	本会議の傍聴者はいないことを確認した。
資料の確認	配布資料について不足がないか確認を行った。
2 あいさつ	(田代会長) 第 5 次プラン案を議論する大切な時期である。事務局でパブリック・コメントの意見を整理し、回答の案をまとめた資料が用意されている。当協議会で議論した答申が計画案の形になり、この後正式な計画となるので、第 5 次プランがよりよいものになるように、本日も意見を頂きたい。
	(事務局) これより議題に入る。本協議会規則第 3 条の規定によ

<p>3 議題</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>第5次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン（案）について</p>	<p>り、議長を田代会長にお願いしたい。</p> <p>(田代会長)</p> <p>協議事項「第5次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン（案）について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料1-1～1-5により第5次プラン案について説明</p> <p>(田代会長)</p> <p>目標値に関して、今回「90%を維持」のように修正されたが、「90%以上を維持」のようにすることはできないのか。また、「5団体を維持」とした部分については、「5団体」という枠があり、5団体以上は増えないということなのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>「5団体を維持」については、「5団体以上を維持」という形に修正して差し支えないと考える。</p> <p>「90%を維持」については、意味としては「以上」を含んだものだが、総合振興計画等の他計画でも同じ目標値を掲載している所管課もあるため、当課の判断で一律に「90%以上を維持」といった形に変えるのが難しい。</p> <p>(田代会長)</p> <p>所管課に問い合わせて「以上」をつけることに同意を得ることはできないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>変更できるところとできないところが出てくる可能性がある。</p> <p>(田代会長)</p> <p>「90%維持」と言うと、90%をたどっていくというイメージである。すでに現状値が90%を超えているのだから、</p>
---	---

「以上」をつけるのが適切と考える。少しご検討いただきたい。

(山崎委員)

言われてみると、90%が最低限だと言うためには、「以上」を入れたほうがよい。総合振興計画の策定の際はこうした議論はなかったが、できるだけこの計画からでも「以上」を入れてもらいたい。「最低」や「最高」といった表現でもよい。

(田代会長)

他に意見・質問はあるか。

(堀川委員)

「性的少数者（性的マイノリティ）」と「性的少数者（LGBTQ）」で表記が揺れているところがあるが、統一しなくてよいのか。

また、性の多様性を専門に研究する立場からは、「性的少数者」という表現はあまり使わない。「少数者」というと、数が少ないことが強調されてしまい、少ないから後回しにしてもよいという議論がされがちである。「性的マイノリティ」の「マイノリティ」は「少ない」ではなく、「抑圧されている」というのが本来の意味である。ただし、「性的抑圧者」ではややとげとげしい感じもあるので、「性的マイノリティ」という表現を使う研究者が多くいる。ここではなぜ「性的少数者」を用いているのか。

(事務局)

表記が揺れているところは、特に意図があるわけではないので、統一させる。

「性的少数者」の表現については、ご指摘のような認識を持っていなかった。具体的には、「性的少数者（性的マイノリティ）」を「性的マイノリティ」にするのが適切ということによろしいか。

(堀川委員)

そのほうが誤解・誤読が少なくなると思うし、28 ページにLGBTQという言葉の認知度の調査データが出ているので、例えば「性的マイノリティ (LGBTQ)」などとしたほうが統一性もあると思う。

(事務局)

LGBTQについて、LGBTQ+などいろいろな表現があると思うが、どの表現を使うのが適切なのか。

(堀川委員)

28 ページに「総称の1つであるLGBTQ」と書いてあるが、この書き方は非常に適切だと思う。昨今、LGBTQやLGBTQ+と書かれているものも増えているが、性的マイノリティを表す総称であるということが重要なので、文面が統一されていて、加えて総称であることが記載してあるならば、どの表現でも不適切ではない。

(事務局)

LGBTQという言葉を使い、用語解説で総称である旨の説明を加える形でも特に問題はないか。

(堀川委員)

問題ないと思う。ただし、LGBTQのQに関しては、当事者間でも研究者の中でも何を表すかの解釈が割れているので、用語解説で細かく書くのではなく、あくまでも総称としてLGBTQという表現をここでは使うというようにするのが自然である。

(田代会長)

LGBT等の表現については、用語解説の186 ページでLGBTQを使っていること、28 ページの調査の表現もあるので、LGBTQがよいと思った。

(山崎委員)

LGBTQについて、186 ページでQはクエスチョニング、

	<p>クイアとあるが、こういう書き方でよいのか。</p> <p>(堀川委員) 説明自体は特に問題はない。188 ページで「性的マイノリティ」が説明されているので、「性的少数者を表す」を「性的マイノリティ」にすればよいと思う。</p> <p>(山崎委員) 188 ページの性的マイノリティの説明に「性的少数者」という文言が使われているが、これについてはどうか。</p> <p>(堀川委員) いわゆる性的少数者と言われているものは性的マイノリティであるというような用語の解説になっていると思うので、削除してもよいし、あってもこの程度であれば構わないと思う。</p> <p>(田代会長) 少数者とマイノリティは意味合いが違うということについて、用語集の内容は変更可能なのか。</p> <p>(事務局) 可能である。</p> <p>(田代会長) それでは、ここは「性的少数者」を削除し、マイノリティとは単に少数ではないといった解説を入れてはどうか。</p> <p>(堀川委員) 「抑圧者」という表現を使うかどうかは微妙なところだと思う。例えば性的に生きづらさを抱えているとか、単に数が少ないという意味ではないという補足があるとありがたい。</p> <p>(田代会長) そういう用語解説があるとすごくよいと思う。そこまで</p>
--	---

<p>(2) 報告事項 ①令和5年度外部評価に対する事業担当</p>	<p>きちんとしているものはなかなかない。</p> <p>(堀川委員) 188 ページの性的マイノリティの説明中で同性愛者・両性愛者・性同一性障害者と書いてあるが、いわゆる LGBT の T はトランスジェンダーと訳されて、必ずしも医学的に障害があることを含むわけではないので、ここも例えば「同性愛者・両性愛者、トランスジェンダーなど」としたほうが、LGBT という言葉の本来の意味を損なわないと思う。</p> <p>(田代会長) 同じ 188 ページで性と生殖に関する健康と権利を「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」としているが、国際的な状況を踏まえて「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」としたほうがよい。 また、性自認や性的指向については、WHO の定義があるので、「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の用語集を参考に確認しておいてほしい。 パブリック・コメントの意見を受けた修正のところで、事業 114 の文言がどう変更されているのかよくわからない。</p> <p>(事務局) 当初は「女性自立支援施設等の退所後に、地域での生活支援再建を支えるためにアフターケアを行います」であったところを具体的に修正したのだが、資料作成時に誤記があった。</p> <p>(田代会長) 他に意見がないようであれば、本日出た意見を第5次プラン案に反映させてほしい。</p> <p>(田代会長) 続いて、「令和5年度外部評価に対する事業所管課からの所見」について、事務局より説明をお願いする。</p>
--	---

<p>課からの所見について</p>	<p>(事務局) 「令和5年度外部評価に対する事業所管課からの所見」について資料2により説明。</p> <p>(田代会長) 質問や意見はあるか。</p> <p>(事務局) 補足説明をさせていただくと、評価結果は平均をとっているが、委員によって評価のばらつき等があるので、年次報告書には単純に集計した平均だけではなく、もう少し細かいデータを掲載する予定である。</p> <p>(田代会長) 評価するメンバーは毎年変わるが、やはり評価のばらつきがある。</p> <p>(事務局) 今回も同様で、見た目以上にいろいろな評価がある。</p>
<p>②第3次DV防止基本計画の令和4年度実施状況について</p>	<p>(田代会長) 続いて、「第3次DV防止基本計画の令和4年度実施状況」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局) 「第3次DV防止基本計画の令和4年度実施状況」について資料3により説明。</p> <p>(田代会長) 実際に実施状況をまとめて気づいた点はあるか。</p> <p>(事務局) DV防止に特化した計画なので、各所管が積極的に取り組んでおり、実施状況に記載した以上の取組をしているし、連携が図られている実感がある。</p>

<p>③その他について</p>	<p>(櫻田委員)</p> <p>実施状況というところ、数値的なことが何かしら入ることが基本だと思う。資料では大半の事業について入っているが、例えば、1番の「市民への意識啓発」の上から2番目で「資料や情報を収集し、貸出しを行いました」とあるが、具体的な貸出冊数がわからない。また、「学校等における人権教育等の推進」の上から4番目に「ビデオの貸出しや講師紹介など、講演会を開催いたしました、支援しました」とあるが、どのくらい行ったのかがわからない。数字が入っているところと入っていないところがあり、ばらつきがあると感じる。</p> <p>(事務局)</p> <p>DV防止計画は第4次プランと重複している部分があるので、第4次プランで数値目標が定められていれば把握できることがある。次年度の実施状況報告では、できるだけ数値がわかるような形で報告を求め、それをまとめた。</p> <p>(田代会長)</p> <p>続いて、「その他」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>「第3回パートナーシップさいたまフェスタ」について説明。</p> <p>(田代会長)</p> <p>どのくらいのアクセスがあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>申し込みは現在130人ほどである。</p> <p>(田代会長)</p> <p>広報を頑張ってもらいたい。</p>
-----------------	--

(山崎委員)

どこで周知しているのか。

(事務局)

図書館等の公共施設でリーフレットを配布しているほか、X（旧 Twitter）やホームページ等でも周知している。

(山崎委員)

こういうものをなるべくいろんな人に見てもらえるとよいと思う。テレビで見たことのある人が講師だと、高齢の人は喜ぶと思うので、そういうところに広報できるとよい。

(田代会長)

申し込みが 100 人台では少ない。やはり 1,000 人以上となって欲しい。リーフレット裏面のプレイバックも充実している。いかに広報するかが課題であり、知恵を出し合っ
て広がるとよい。

(櫻田委員)

オンライン講座のプレイバックというのは、1月11日から2月16日の期間中、特別にもう1回見ることができるというものなのか。

(事務局)

そうである。

(櫻田委員)

依頼いただければ、国立女性教育会館のホームページで、関連の事業として紹介が可能である。

(田代会長)

埼玉大学ダイバーシティ推進センターにも周知の連絡をしているか。

	<p>(事務局) 担当者を確認する。</p> <p>(田代会長) 連絡をすればホームページでの広報が可能になるはずである。</p> <p>(山崎委員) 市民限定ということはないか。</p> <p>(事務局) 市民に限定しているわけではない。</p> <p>(櫻田委員) 性暴力、多様な性、ケア労働、国際男性デーなど、テーマのバランスもよい。</p> <p>(山崎委員) 高齢の人に見てもらうのがよいのだが、高齢の人は防災がテーマであれば地域活動等に参加してもらえるので、そういう分野と合わせたものであると入りやすい気がする。</p> <p>(事務局) 防災に関する研修会で男女共同参画のことについても説明するようにしている。</p> <p>(山崎委員) 人権政策・男女共同参画課の事業で災害対応等を少しクローズアップすれば、ジェンダーの要素が薄くならないと思う。そういう講師がいれば興味が沸くだろうと思う。</p> <p>(事務局) 何年か前に神戸のほうで支援に携わった人を講師とした講座を行った。通常の講座の中でも、男女共同参画の視点からの防災といったテーマを取り上げたこともあるので、ご意見を踏まえ、折を見て取り組んでいきたい。</p>
--	---

4 閉会	<p>(田代会長)</p> <p>せっかくのバランスのよいラインナップなので、防災なども入っていたらよいと思う。ホームページを見ると、防災のことも入っているので、スピード感をもって積極的に入れるよう検討してほしい。</p> <p>以上で本日の議題は全て終了とする。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日が今任期における最後の協議会となるので、お礼を申し上げる。2年間にわたり、第5次男女共同参画のまちづくりプランの策定や外部評価の実施など、本市における男女平等の実現に向けてご尽力いただき感謝する。</p>
------	---